

審議会等の会議結果報告書

課所名		生涯学習課生涯学習係
会議名	令和5年度 諏訪市人権同和教育推進委員会	
開催日時	令和5年7月27日(木) 10時00分～11時30分	
開催場所	諏訪市公民館視聴覚室	
出席者	(出席者) 鴨志田委員長、桜井副委員長、小林委員、高橋委員、山口委員、藤森委員 三輪教育長、今井教育委員、兩宮社会福祉課長、小林教育総務課長、小泉公民館長、中澤社会教育指導員、関沢生涯学習係長、笠原主査、丸山主任 (欠席者) 柳澤委員、高橋委員、畑野委員、名取委員、矢島委員 (傍聴者) なし	
資料	令和5年度 諏訪市人権同和教育推進委員会 次第 等	
協議議題(内容)及び会議結果(要旨)		
1、開会 2、委嘱状交付 3、教育長挨拶 4、委員長挨拶 5、自己紹介 6、報告 (1)社会教育における人権同和教育の取組について (2)各団体における人権同和教育の取組について 1.人権・同和行政について 2.学校教育における人権教育の取組について 3.学校教育における人権教育の取組について 4.保育園における人権教育の取組について 7、協議 (1)一般の大人に対する人権教育について 8、その他 9、閉会 【質疑意見一括】 ○よりよい社会をどう作っていくのか、非常に悩ましいことではあるが、学び続けることが大切。 ○社会全体が人権に対して理解を深めることが必要。 ○子どもの姿は時代によっても変化していくので、その中で対応していく難しさがある。 ○幼児教育が大事。大人に周知していく事も大切。 ○人権擁護委員に社会教育の中で来てもらい、話を聞くのも良いと思う。話を聞いたり、活動について幅広く知ってもらおう機会。 ○無自覚のマジョリティーがある。社会の中では優位性があるが、それに気付いていない。 ○意識しないいじめや差別がある。それに気付き、コントロールしていくことが大切。 ○家庭や地域、個で分断の時代だと思う。地域の人が子どもの逃げ場になれば。 ○困っていることに対して、一緒に対応していくというのが児童相談所のスタンス。 ○「多様性」の時代。同じケースでも、立場が違うと反対のことを思ったりする。家庭ごとに真実があり、どれも真実で難しい。真実を見つめないと解決できない。 ○大人の人権教育は、大人の人間教育。 ○様々なことが多様性であり、違いでもある。人権教育はどれをキャッチする側の教育。マジョリティーは気付かず、キャッチできないこともある。そこに働きかけていかなければ世の中は変わらない。		